

プロフィールシート

プロフィール



- ・信州大学 社会基盤研究所 助教
- ・芝 啓太 (しば けいた)
- ・大阪大学大学院 経済学研究科を修了後、2019年4月より現職。専門は都市・地域経済学。統計学に基づいた、地理的なデータの実証分析を得意とする。研究テーマは自然災害と人口動態。

研究・技術シーズ名：

自然災害が人々にもたらした心理的・経済的影響のデータ分析、津波リスクの変化と人々の居住地選択におけるデータ分析、防災に強い都市の実現とコンパクトシティの形成についてなど

主要キーワード (自由記載)

専門分野：経済学/実証分析 (データサイエンス) /地域経済学/労働経済学/因果分析

興味関心：自然災害/防災/人口動態/人口移動/出生率/地価/都市計画/GPS

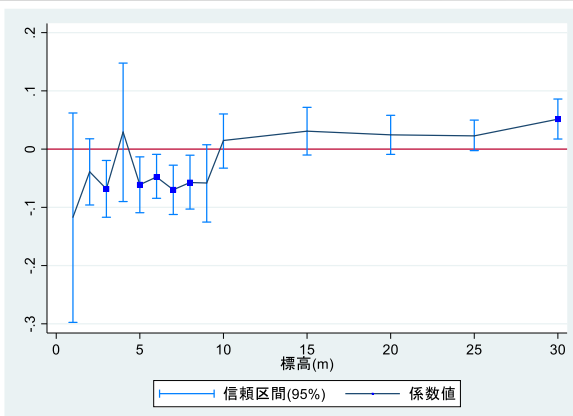
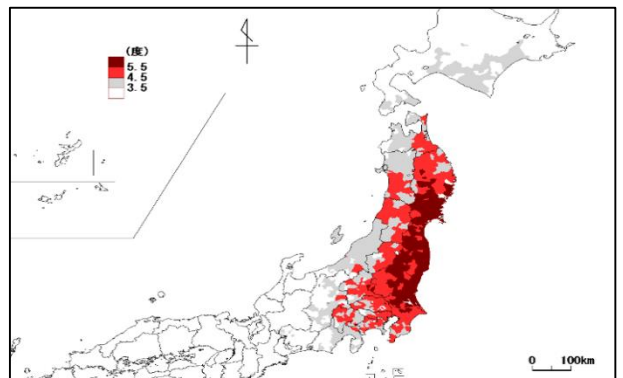
研究・技術シーズ概要：

①東日本大震災によって少子化が加速する？

原因：将来所得の不安, 心理的ストレスなど

結果：東日本の広範囲で出生率が減少
実は東北だけの被害ではない

図1 出生率が低下した地域を示した→



②南海トラフ地震の津波に備えて、人々はどのような土地に住みたいと思うようになるか？ (地価データを使って分析)

結果：震災後には、人々は標高を見て土地への選好を決めていた。また、ハザードマップに含まれていない土地でも標高を基準に人々がその土地を避けるようになっていた。

←表1 低地で地価が減少していることを示した

産業ニーズ・応用シーン：

- ・名古屋都市圏の規模推定
 - ・被災リスクに備える人とそうでない人の属性の調査
 - ・防災用具の購入歴で測るリスク回避的な人の属性
 - ・津波回避行動による居住地選択とニュータウンの開発場所
 - ・防災に強い地域が人口流入効果を生むかについての調査
 - ・GPSを使った通勤経路から導く最適な広告掲示場所
 - ・GPSを使った通勤経路と災害時の交通渋滞予測
 - ・若年層の大卒後の地元就職率とUターン効果
 - ・高齢者のバス利用無料化による事故防止の費用対効果
 - ・ゴミ処分施設（or 原子力・火力発電所）の設立在住民に与える負の効果推定
 - ・救急病院の設立と人口流入効果
 - ・エコ活動の費用対効果
 - ・中高一貫校が生徒に与える影響
 - ・ハザードマップの認知度調査
- など

展開が期待される分野・領域：

- 農業 林業 水産 畜産 鉱業 建設 食料品 繊維製品 木製品 パルプ・紙 化学品 医薬品
- 化粧品 石油製品 プラスチック ゴム製品 革製品 鉄鋼 非鉄金属 金属製品 セラミック 炭素系新素材
- 新素材（その他） 機械 工作機械 自動車 二輪車 航空宇宙 電気機器 精密機器 光学機器
- 産業用機器 ロボット ファクトリーオートメーション 音響機器 半導体 電子部品 電池 コンピュータ モバイル
- AR/VR エネルギー 資源 情報通信 衣料 装飾 インターネット 情報処理 電力 ガス レーザー
- 光 セキュリティ 住宅 材料分析 画像処理 音声認識 バイオ 省エネ 水 放送 広告 運輸
- 倉庫 郵便 卸売 小売 交通 e-コマース 金融 保険 不動産 物品賃貸 宿泊 飲食店
- 生活関連サービス 観光 コンテンツ（映像等） 娯楽 教育学習支援 医療 ヘルスクエア 福祉 介護 衛生
- リサイクル MaaS SaaS 都市開発 インフラ 環境 印刷、出版 伝統工芸 アート 音楽 デザイン
- その他（ 自然災害・防災 ）

その他PR事項：（産学共同実績 等）

- ・外的資金獲得（給付型奨学金）
公益財団法人 旭硝子奨学会（現：旭硝子財団） 日本人奨学生（2016年 4月 ～2019年3月）

ソフトウェア技能

- ・統計ソフト（Stata）
- ・地理情報システム（Arc-GIS）